

宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第 45 号 (2026 年 2 月号 [2026/2/9 発行])

寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。体を冷やさないように注意し、手洗い・うがいをしっかり行って風邪をひかないようにしましょう。本号では、前号の乾癬性関節炎全般の話に引き続き

「乾癬性関節炎の治療」

のお話したいと思います。

【乾癬性関節炎の治療】

乾癬性関節炎の治療は、「痛みを取る」ことだけが目的ではありません。最大の目標は、関節の破壊や変形を防ぎ、日常生活や仕事、趣味を続けられる状態を保つことです。近年は治療法が大きく進歩し、早期に適切な治療を行えば、多くの方が良好な状態を維持できるようになっています。まずは炎症を抑えることが基本です乾癬性関節炎は、体の免疫のバランスが崩れ、関節や皮膚に炎症が起こる病気です。そのため治療の中心は、炎症を抑える薬になります。軽い関節症状であれば、まずは「消炎鎮痛薬（痛み止め）」を使うことがあります。ただし、これらは症状を和らげる薬であり、関節の破壊を止める薬ではありません。炎症が続く場合には、より根本的な治療が必要になります。

【従来の飲み薬による治療】

関節の炎症を抑える基本的な飲み薬と

して、メトトレキサートなどの「抗リウマチ薬」が使われます。これは免疫の働きを調整し、関節の破壊を防ぐ効果があります。長年使われている薬で、多くの患者さんに有効です。また、「PDE4 阻害薬（アプレミラスト）」という飲み薬もあり、関節や皮膚の炎症を抑える作用があります。注射を使わずに治療できる点が特徴です。

【生物学的製剤という選択肢】

近年の治療で大きく進歩したのが、生物学的製剤と呼ばれる注射や点滴の薬です。これは、炎症の原因となる特定の物質をピンポイントで抑える薬です。乾癬性関節炎では、主に、「TNF 阻害薬」、「IL-17 阻害薬」、「IL-23 阻害薬」、「IL-12/23 阻害薬」の選択肢があります。これらは、関節の痛みや腫れを改善するだけでなく、関節の破壊を防ぐ効果が確認されています。さらに、皮膚や爪の症状にも高い効果を示す薬があります。どの薬を選ぶかは、

- ・関節の症状が強いのか
 - ・皮膚症状が重いのか
 - ・背骨の痛みがあるか
 - ・腸の病気（潰瘍性大腸炎など）があるか
 - ・感染症の既往があるか
- などを総合的に判断して決めます。

【飲み薬の分子標的治療】

最近では、「JAK 阻害薬（ウパダシチ

ニブなど)」という飲み薬も使われています。これは体の中の炎症シグナルを抑える薬で、関節症状に高い効果を示します。内服で治療できる点が特徴です。

【治療の考え方「目標を定める」】

乾癬性関節炎の治療では、「症状が少ない状態（低疾患活動性）」あるいは「ほとんど症状がない状態（寛解）」を目標にします。この方針は「Treat to Target（目標に向けた治療）」と呼ばれています。治療を始めた後も、定期的に、「関節の腫れ」、「痛みの程度」、「血液検査」、「生活への影響」を確認し、必要に応じて薬を調整します。

【副作用と向き合うことも大切です】

どの薬にも副作用の可能性がありま
す。感染症に注意が必要な薬もありま
すし、口の中にカンジダという真菌が
増えやすい薬もあります。ただし、多
くは早期発見と適切な対応で継続可能
です。治療を続けるためには、体調の
変化を医師に伝えることが大切です。

【治療は「長い付き合い」です】

乾癬性関節炎は慢性の病気ですが、適
切な治療を続ければ、多くの方が仕事
や家庭生活を続けています。重要な
は、「痛みがあるのが当たり前」と我慢
しないことです。皮膚と関節の両方を

しっかり診ることで、より良い治療選
択が可能になります。現在は治療の選
択肢が豊富にあり、患者さん一人ひと
りに合った治療が選べる時代です。私
たちは、症状だけでなく、生活や将来
の希望も含めて一緒に考えながら治療
を進めていきます。気になることがあ
れば、遠慮なく相談してください。

（日高利彦）



第26回 RA トータルマネジメントフ ォーラムで当院の 泉倫子 看護師が発 表しました

2026/2/7（日）に新宿パークタワー
にて、「第26回 RA トータルマネー
ジメントフォーラム」が開催されました。
そのフォーラムにおいて、当院の 泉倫
子 看護師が、皆様に御協力頂いたアン
ケート調査を基に「在宅で生物学的製
剤を使用している関節リウマチ患者の
継続看護について アンケート調査結
果からの考察」と題して宮崎県を代表し
て発表しました。賞賛に値する素晴ら
しい発表でした。今後のご活躍を祈念
致します。

リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい。な
お、当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます。

(https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1)

(QRコードは右の通り)

